

# 住みやすい沿線づくりに 向けた取り組み



## 社会課題の認識

- ▶ 子育て・育児しやすい環境の整備
- ▶ ワーク・ライフ・バランスの確立
- ▶ 高齢社会への対応
- ▶ 多様な住環境ニーズへの対応

## 取り組みの実施

- ▶ 保育施設の整備
- ▶ TOBU POINT 子育て応援プログラム
- ▶ テレワークに適した分譲物件の供給
- ▶ サテライトオフィスの開設
- ▶ ワークスペース付き賃貸マンションの供給
- ▶ シニア向け住宅の整備・供給
- ▶ 都心部と郊外の2拠点生活への支援

## 取り組みによる実績

- ▶ 駅チカ保育施設の開設  
施設数 **18**か所  
合計定員 **1,144**人
- ▶ 小学生の通学定期券代と長期休みの小児運賃を実質無料化(ポイントバック)
- ▶ 在宅勤務対応型分譲住宅の供給
- ▶ サテライトオフィスの開設(5か所)、駅BOX型(12駅)
- ▶ ワークスペース付き賃貸マンションの供給(3棟)
- ▶ サービス付き高齢者向け住宅・クリニック・コンビニエンスストア一体の複合施設の供給
- ▶ 滞在型貸し農園「畑住処」の開設

## SDGsへの貢献



## 子育て世代のために

### 子育て支援施設併設マンションの供給

2020年1月に竣工した賃貸マンション「ソライエアイル練馬北町」は、東武鉄道として初めて「東京都子育て支援住宅認定制度」の認定を取得しました。

本制度は、居住者の安全性や家事のしやすさなどに配慮した住宅であり、子育てを支援する施設やサービスの提供など、子育てしやすい環境づくりを行っている優良な住宅であることを東京都が認定するものです。

本物件には、ドアの指はさみ防止やベビーカー置き場、動線や広さに配慮した間取りを取り入れ、入居者にベビーシッターサービスの無料枠を提供するほか、共用部にはキッズルームを設置し、子育てしやすい環境づくりを行いました。

また、非常食の循環システム付き宅配ロッカー「イーパルボックス」を民間住宅として初めて導入しました。平常時には、日常食として自動販売し、地震発生時には、揺れを感知して自動的に備蓄BOXが開放される仕組みであり、商品は週1回補充することでローリングストック(非常食の循環)が可能となります。



ソライエアイル練馬北町  
(キッズルーム)



ソライエアイル練馬北町  
(外観)

### 駅チカ保育施設の開設

2012年から保育施設の誘致を進めており、東武鉄道の駅チカ保育所は東武線全線で合計18か所になりました。



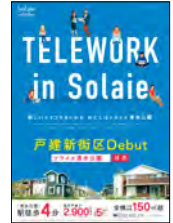
江戸川台保育施設でのイベント

### 在宅勤務対応型分譲住宅の供給

在宅勤務に対応した住宅の供給を進めています。2022年に分譲した戸建住宅「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」では、「テレワークスペースのある家」や「シアターピットのある家」など1邸ごとにコンセプトを設けており、「テレワークスペースのある家」では、落ち着いた環境でリラックスして仕事に取り組めるよう、居室レイアウトを配慮した間取りを提供しています。



テレワークスペースのある家



また、分譲マンション「ソライエグラン流山おおたかの森」、「ソライエテラス イースト」は共用部にワークスペースを設け、居住空間とは別の場所で集中して働くことができる空間を提供しています。

今後も新しい生活様式に相應る住宅を企画・供給していきます。



ソライエグラン流山おおたかの森  
(共用部)

### 子育て応援プログラム

東武鉄道では子育て世帯の応援を通じて沿線地域社会と共に持続的な発展を推進しており、「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」の実現を目指しています。その一環として、東武グループ共通ポイント「TOBU POINT(トブポ)」や東武カードを活用して本プログラムを実施しています。

- ★小学生の通学定期券代が実質無料  
東武カードで東武線小児通学定期券を購入すると、購入した東武線区間の定期券代相当を全額「トブポ」でポイントバックします。
- ★長期休みの小児運賃が実質無料  
東武カードで東武線定期券を購入した方が、長期休み(夏・冬・春休み)期間中、親子で同一区間を乗車すると、東武線内の小児運賃相当分を「トブポ」でポイントバックします。

## シニア世代のために

### シニア向け住宅の整備・供給

2021年6月に竣工した「岩槻駅前ビル」は、賃貸マンション「ソライエアイル岩槻」とサービス付き高齢者向け住宅・クリニック・コンビニエンスストアが一体となった複合施設となっています。

賃貸マンション「ソライエアイル岩槻」とサービス付き高齢者向け住宅はそれぞれペットとの共生をコンセプトとしており、両物件の入居者が共用することのできるドッグランを設置することで、ペットとの共生を通じて多世代交流の促進を図っています。



ソライエアイル岩槻(居室)

# 多様な働き方をする方のために

## サテライトオフィスの開設

東武鉄道では、沿線にて職住近接の環境を整えることで、より暮らしやすいまちづくりを目指して、2020年6月に、郊外型サテライトオフィス「Solaie +Work(ソライエ プラスワーク)」を開設しました。店舗型オフィス5施設(草加松原・ふじみ野・鎌ヶ谷・朝霞台・坂戸)のほか、駅BOX型サテライトオフィス「EKI DESK(エキデスク)」を北千住駅など12駅に設置し、時間と場所にこだわらない働き方をサポートしています。



EKI DESK

## ワークスペース付き賃貸マンションの供給

2021年3月に東武鉄道初となるワークスペース付き賃貸マンション「ソライエアイル草加」「ソライエアイル新河岸」の賃貸を開始しました。

また、2022年7月には共用スペース及び一部居室内にワークスペースを設置した「ソライエアイル越谷蒲生」の賃貸を開始し、「暮らす」と「働く」が融合する空間を提供しています。



ソライエアイル越谷蒲生(共用部)

## 「2拠点生活」での新しいライフスタイルを提供

東武鉄道では、東武日光線新古河駅前の所有地に、アグリメディア社が展開する滞在型貸し農園「畑住処(はたすみか)」を誘致し、新しいライフスタイルを提供しています。

これは、コロナ禍におけるライフスタイルの変化により、都心だけの生活にこだわらない2拠点生活への関心が高まっていることを受け、「貸し農園事業のノウハウを持つ」アグリメディア社と、「都心部と郊外をつなぐ」東武鉄道が連携することで、都心部と郊外で農のある2拠点生活を実現し、新たなライフスタイルを提供するものです。



生活支援施設 展開図

